



分会組織の再編について

2部構成で分会長会議開催

9月27日、地本会議室において午前の部・夜の部に分けて、第2回分会長会議を開催した。松田委員長は、①10/28の支部大会以降、組織の強化・拡大が大事な議論になる。②山宮さんの国労加入に元気をもらった。仲間を増やしていきたい。③今年度末で国鉄採用組がいなくなる。「集まる場・話せる場」をどうやってつくっていくか。みんなで考えていきたい。④エルダー職場の劣悪な労働条件改善の闘いをつくっていく必要がある。とあいさつをした。

続いて鈴木書記長から「分会組織の再編について」が提起され、全体討論に入った。分会再編については意見が出なかったが、職場の問題が多く出されたので特徴的な部分だけ掲載する。

書記長提起

- ・この間、統括センターごとの分会、地区単位の分会などいろいろ意見をいただいていたが、今日の会議でも意見をうかがっていききたい。
- ・5支部になる前から組織人員の減少に歯止めがかからず、役員の担い手もない中で東京支部が発足した。この間進めてきたのは、分会の通帳を一冊にまとめること。有価証券については支部への譲渡をお願いしてきた。
- ・分会の財政担当者も引き継ぎがうまくいっていないことを踏まえ、来月7日、分会財政・24について学習会を企画した。多くの参加をお願いしたい。
- ・今後、若い世代に運動を引き継ぐため、規約なども変えていかなければならないと考えている。

通信・信号技術センター

- 信号と通信の職場は一つになっているのに分会は分かれている。
- 通信社員はフレックス制導入。信号社員は8時30分から作業開始。それにあわせて通信社員も8時30分に出勤してくる社員が多い。ひどい社員は月50時間以上超勤になっている。
- エルダー出向となり、JR本体とつながりが持てない。
- エルダー先がバラバラだと連絡の取り方が難しいのかなと思う。



どこもかしこも人手不足

職場の声を機関運動へつなげよう

JESS職場

- 取手駅で国労加入した山宮さんが、8月3日の分会集會に参加して、国労加入の経過と決意を述べてくれた。山宮さんは「よい会社にしたい」との強い思いがあり、今の会社のやり方に怒りをもって加入を決意してくれた。一緒に頑張っていきたい。
- 柏駅連合分会は2カ月に1回分会集會を開催して「話し合う場」をつくってきた。また、グループラインを活用して情報交換している。
- 常磐駅連合分会の結成に向けて話を進めている。
- JESS職場も今年から試験に受からないと主任になれない。評価が公平ではなく、若手が希望を持ってない職場になっている。
- 退職者の後補充がなく、慢性的な要員不足である。
- 大森駅の北口が遠隔になる。JESS社員にアンケートをとり、面談している。



本体エルダー職場

- 毎月地区分会の執行委員会はやっている。ほとんど60歳以上で、議論の中心は「今後、組織の維持をどうしていくか」となっている。
- 営業統括センターができ、統括センター内で要員を回しているため、駅の要員は増えない。
- コロナ禍で委員会活動が多くなった。職場の若手は、不満はあるが組合加入とはならず、嫌であれば会社を辞めてしまう。

車両センター

- 職場は80人くらい社員がいて国労は自分だけ。来年以降、組合員がいなくなる。所属分会はどうすればよいか？
- 職場に現職は3人いるが部署が違うため、機関の運動が難しくなっている。

書記長答弁

- ・エルダー先の所属分会については、行った先に分会があれば基本的には行った先の分会に所属する。元職場で役員などやっている場合などについては本人の意向を尊重する。
- ・分会再編について、旧中央支部・旧大井工場支部・旧自動車支部については現状のままと考えている。

第4回定期支部大会に参加を！

10月28日（土）10：00～受付 10：30～開会 田町交通ビル5F